

市販品を遥かに凌駕する高性能！！
 “S.T.A.R.S. 専用ファイティングカスタムハンドガン”



SAMURAI EDGE
STANDARD Mod.

※サムライエッジ/スタンダードをかまえる
 『S.T.A.R.S./ブラボーチーム』『レベッカ・チェンバース』

ジル・バレンタイン モデルM2FC/SE01

S.T.A.R.S.は事件の調査や、諜報活動・特殊工作も行うため、警察におけるSWATというより、軍隊における特殊部隊、たとえば陸軍における「デルタ・フォース」に近いといえる。

爆弾処理のエキスパートであるジル・バレンタインは、前線陣で銃撃戦を行うよりも、諜報活動・特殊工作を行う機会が多く、ハンドガンはバックアップのなめらかな後のホルスターに入れていることが多く、銃を扱う場合に服に引っかかることを嫌い、スライドストップは小型化されている。

またメダリオンカラーがジルのパーソナルカラーである「ライトブルー」に変更されている。飾り気がなく、「質実剛健」かといって「男まさり」でもない、これがアルファチーム紅一点「ジル」のアイデンティティの現れなのかもしれない。



1999年12月
限定発売 発売



2000年4月
限定発売 発売



2001年4月
限定発売 発売

バリー・バートン モデルM300C/SE03
 とにかく「大口径の銃、ハイパワー」にこだわる「バリー」は、「9mm×19弾」よりさらに強力な「40S&W弾」をチョイス。しかも強化弾「4P」を使用し耐えるようにカスタムを依頼した。発射時の強烈なリコイルショックを和らげるために、バレル先端には4ポートの穴が開く「大型コンベンセイター」と「スタビライザー」を装着。スタビライザー下部には、「ウェーブ・サイス」のマウントレールを配し「レーザーサイト」や「フラッシュライト」などの各種モジュールを装着可能にしている。マガジンも40S&W弾のケースサイズに合わせて延長されている。

クリス・レッドフィールド モデルM2FC/SE02

アルファチームのエース「クリス・レッドフィールド」は、S.T.A.R.S.イチの射撃技術を誇る。数多くの射撃大会のタイトルを持つ彼の銃に対する要求は厳しく、カスタムを依頼するにあたっては、最高の精度と操作性を求めている。見た目に美しいシルバーメッキ仕上げのトリガーは、高度な滑りが発射のトリガー操作を可能にし、どんな状況においてもターゲットを確実にヒットする。スライドはより高い精度を追求した硬質スチール製に交換されており、コーティングの厚みによる、寸法変化をさけるために、「ブルーフィニッシュ」が施される。更に、「ツヤ消し」とすることで、外光の反射を押さえ、隠密接近を可能にした。

(※ブルーフィニッシュとはスチールの表面に薬液による皮膜を作った防錆性を高める表面処理)

biohazard

SAMURAI EDGE History



歴史が語る“サムライエッジ”シリーズ誕生ストーリー

<1996年4月>

“ラクーンシティ”アメリカ中西部に位置し、近年企業の介入によって急激な都市化を行ったこの街は、その代償として今までは考えられなかった都市型テロや、多様化する犯罪にさらされていた。従来、警察組織では対処しきれなくなったラクーン市警は、その対応として「特殊戦術および救助を目的とする部隊」S.T.A.R.S. (Special Tactics And Rescue Service)を設立、各方面よりエキスパートを募ることとなった。その際リーダーとして招かれたのが、サンフランシスコ市警で長年SWATを経験し、現在は市の郊外でカスタムガンショップ「KENDO」を営んでいる「ジョウ・ケンド」であった。

<1997年12月>

トレーナーとしての契約期間を満了し、サンフランシスコで再びガンミスとしての生活を送っていたケンドの元に、ラクーン市警からS.T.A.R.S.専用の、カスタムガン製作の依頼が入った。製作にあたっての条件は次のとおりであった。

- (1) 使用弾薬.....警察機関で一般的な、9mmパラベラム(9×19mm)を使用すること。なお弾薬の携行や調達を考慮し、SMG（サブマシンガン）と共通の強装弾が使用可能な耐久性を有すること。
- (2) 装弾数.....弾倉内に13発以上装弾可能なこと。
- (3) サイト.....耐久性を考慮した固定タイプで、近距離戦闘における素早いサイティングが可能に、3ドットタイプとすること。
- (4) 命中精度.....25ヤード（23m）で2インチ（5cm）以下であること。尚、3,000発撃った後も同等の命中精度を有していること。
- (5) ファンクション.....様々なシチュエーションからの射撃を考慮し、トリガーアクションはダブルアクションとする。また左右どちらからでも操作可能なように、アンビタイプのセイフティとする。
- (6) 重量.....長期間の作戦行動での携行を考慮して、弾薬を除く本体重量は35オンス（1,000グラム）以下とすること。

市販パーツを組み合わせただけでは、この条件は到底クリアできるものではなく、1挺ずつ、構成される全てのパーツ同士の折り合いをつけながら、作業を進めていかなくてはならないが、そんな仕事のできるガンミスは世界にもそう多くはない。ジョウ・ケンドはそんな厳しい条件に対し、とまどうどころか逆に興奮を覚えていた。

<1998年2月>

ラクーンポリス所長ブライアンデスクには、3つのガンケースが並んでいた。1つはもちろん、ジョウ・ケンドの手によるカスタムガン納めた、カスタムショップケンドのアルミケース。2つ目はアンブレラのロゴの入ったプラスチックケース。そして3つ目は、ジョウと同じカスタムショップケンドのアルミケースであった。これには、ラクーンシティでガンショップを開いている、ジョウの弟、ロバート・ケンドの持ち込んだカスタムガンが納められていた。ロバートは友人のバリーから、今回のトライアルの話聞き、このカスタムガンを仕上げてきたのだが、バリーの要望をそのまま形にしたそのガンは、トライアル条件から完全に逸脱しており、実質的にジョウ・ケンドとアンブレラ社との判決となった。 トライアルテストの担当にはS.T.A.R.S.イザの射撃技術を誇る「クリス・レッドフィールド」が選ばれた。射撃競技で数多くのタイトルを持つ彼は、実戦においても十分な経験を積んでおり、テスト担当として彼以上の適任者は考えられなかった。

まずは各種弾薬を使っての命中精度テストが行われ、ケンドカスタムは25ヤードで3/4インチ（1.8cm）の成績をたたき出した。続いて4万発以上の実射テスト、海水につけての耐触テスト、落下テスト等が行われ、それら全てにおいてもケンドカスタムは最高の成績を取めた。性能的には十分であったが、実際に現場で使用するに当たって、スライドのフロントセレクションの追加とスライドストップの延長を行ってほしいとの要求が出された。

<1998年3月>

トライアルの結果を受け、一部改良されたケンドカスタム・フェイス2は、アルファチームのクリス・レッドフィールド、ジル・バレンタイン、バリー・パートン、アルパート・ウェスカーの4人によって、テスト運用されることになる。

<1998年6月>

隊員達の手によるテストを終え、十分に満足いく結果が出たことを受けて制式採用が決定される。

S.T.A.R.S.のメダリオンをグリップに入れ、スライドに部隊名の刻印を入れた完成品は、東洋の刀を思わせるスライド側面のラインと、日系人であるジョウ・ケンドにちなんで「SAMURAI EDGE」と名付けられた。そして、残りの8名全員に、このモデルが支給されることとなった。この頃、ラクーンシティに流れるマーブル河上流のアークレイ山地で、行方不明事件とともに、大型モンスターの目撃情報が、地元紙に頻繁に報じられるようになっていた。



●フェイス2のトライアル用「サムライエッジプロト」

完成された カスタムハンドガン——それが“サムライ・エッジ”

「何かあったときにはコイツを使え！
私は君達を信じている……Joe Kendo」

●新たに追加された「LAW ENFOR」の刻印。脱すと「法執行機関員のみ使用可能」を意味する。

●スライドには「スターズ制式採用」を示す刻印が彫り込まれている。

●追加力の反動が手首に伝わる！
「高性能ガスブローバック搭載」

STANDARD Mod.

●ホワイトドットリアサイト ●オリジナルスターズブルーダグリアン

サムライ・エッジ

S.T.A.R.S. 制式採用ハンドガン
スタンダード モデル M92F/SEstd.
新発売 ￥16,800 【税別、ガリバー・ガス別売】

「サムライエッジ」の由来であるスライドは、強装弾の使用にたえるためスライドロック部を幅広くした「ブリガディアスタイル」を採用。側面のセレクションは前後2ヶ所に刻まれ、セレクションの間には「S.T.A.R.S.」と「SAMURAI EDGE」の刻印が入る。表面仕上げは、アルミ合金製のフレームに対し、スチール性のスライドは多少グレー掛かった色調になっており、ステンレスシルバーのバレルと相まって、鮮やかなデュアルトーンを演出する。鋭角的なシルエットのスライドと、冷たい光沢を放つバレルの組合せが連想させるのは、まさに「サムライの刃」だ。弾を撃ち尽くしてスライドがホルドオープン。右の親指で空マガジンを落とす。左手で新しいマガジンを装填。親指をずらし、スライドストップをリリースする。スライドストップレバーを後方に延長することで、グリップングを変更することなく、タクティカルリロードを行うことができる。3ドットのコンバットサイトは、素早いサイティングを可能にするだけでなく、リヤサイトは可能な限りスライド後方に設定し、前後サイト間距離を長く取ることで精密な射撃にも対応。さらに、様式美と機能性が見事な融合を果たした「ハイブリット・カスタム・グリップ」は射撃時のショックを吸収すると共に、射手との一体感を約束する。中央にはスペシャリストの証「S.T.A.R.S.ゴールドメダリオン」が入る。